

ほっこり ウィークリー

(毎週金曜日発行)

31号
2020
12.11

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
<http://www.pref.kyoto.jp/plant/>

園内で野鳥の死骸を発見されましたら、鳥インフルエンザの疑いもありますので、
絶対に触らずに職員や各門へお知らせください。



2021 京都府立植物園カレンダー 好評発売中!

(植物園会館売店および各門にて)

※ 京都府立植物園公式ツイッターアカウント始めました! 見頃の植物情報を中心につぶやいています。



第29回 ポインセチア展

- 期間: 12月1日(火)~12月25日(金)
- 場所: 観覧温室(特別展示室・ジャングル室)
- 内容: ポインセチア約100品種、700鉢を展示。特別展示室で「クリスマスの飾り」を展示

第52回 野外彫刻展

- 期間: 12月5日(土)~12月20日(日)
- 場所: 園内各所
- 内容: 京都彫刻家協会員の作品約40点を展示

野外彫刻展小品展

- 期間: 12月12日(土)~12月20日(日)
- 場所: 植物園会館1階展示室
- 内容: 室内での彫刻展示

東洋蘭講演相談会

- 日時: 12月13日(日) 13:30~15:00 (受付13:00~)
- 場所: 植物園会館2階多目的室 ○定員: 先着60名
- 内容: 寒蘭、春蘭など東洋蘭全般の栽培を中心とした講習会

バラ剪定講習会

- ① 1月9日(土) 13:30~15:00 (受付13:00~)
 - ・「ツルバラの剪定」植物園会館2階研修室
- ② 1月23日(土) 13:30~15:00 (受付13:00~)
 - ・「四季咲きバラの剪定」植物園会館2階多目的室
 - ※講師: 松尾正晃氏(まつおえんげい)
 - ※定員: ①②とも先着60名
 - ※①②ともばら園で実技があります。

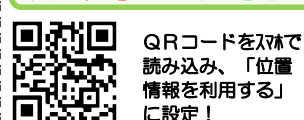
「水曜ミニガイド」植物園認定が 仆がご案内!

※当面の間 水曜ミニガイドは中止させていただきます。

「園長と園内散歩」

12月20日(日) 何処を歩くかはお楽しみ!
植物園会館前集合: 午後2時スタート!

スマホdeガイド



QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定!

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成! 「おすすめ樹木めぐり」「おすすめエリアガイド」などをスマホで確認し、植物観察!

第10回 新春を彩る

寄せ植えハンギングバスケットコンテスト展

- 期間: 1月10日(日)~1月31日(日)
- 場所: 北山門周辺 ~壁掛け型ハンギングバスケット&寄せ植え!

第29回 洋ラン展

- 期間: 1月29日(金)~2月11日(木)
- 場所: 観覧温室(特別展示室)
- 内容: 洋ラン約200鉢を展示(販売あり)

◆1/31(日)洋ラン展関連 講演会

植物園会館2階研修室 13:30~15:00
(当日会場受付 13:00~)
内容: ランの花にみられる送粉について
講師: 戸部園長

洋ラン展関連 講習会 募集中!!

2/7(日) (1回目) 10:30~
(2回目) 13:30~

- ★ミニカトレヤ他の栽培について ★定員: 各10名
- ★参加費: 1,500円(別途、入園料、入室料が必要)
- ★事前申込: 往復ハガキに講習会名、受講希望の回、住所、氏名、電話番号を明記 ★お切: 1/20(水) ★会場: 観覧温室 特別展示室

「土曜ミニミニガイド」技術課職員が植物解説!

毎週土曜日は・・・

植物園会館前集合: 午後1時スタート!



「植物園ガイド」が植物案内!

~見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増!~

- ① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象
- ② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)
- ③ ガイドは1時間程度。(無料)

* 申込先: 京都府立植物園 TEL 075-701-0141

植物園芸相談

- 毎週 日曜日 午前9時~正午、午後1時~午後4時
- 電話075-701-0141



※年間パスポート好評発売中

- ・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです!
大人1000円 高校生750円
- ・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。
※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP!



⑫ イクソラ

アカネ科。熱帯各地に約400種が分布。花は直径2~3cmの小花が多数集まって半球状に咲く。花色は紅、淡紅、橙、黄や白と豊富である。開花期間が長いことから、現地では景観樹や花壇、生け垣などに利用されている。

⑪ ツクバナ

ビャクダン科。日本の本州、四国、九州に分布。スギ、ヒノキ、モミなどの根に半寄生する植物。雌雄異株。雌花が熟すと羽根突きの羽根に似た実をつけることが名前の由来。4枚の羽根に見える部分は葉状の細長い苞である。

⑩ メディニラ・クラサタ

ノボタン科。フィリピン原産。花序は茎頂や茎頂付近の葉腋から垂れ下がり、青味がかかった白色花を多数つける。蕾が半透明の電球に見えるため、「シャンデリア・プラント」とも呼ばれている。花は横向きに開き、花弁は4枚である。

⑨ ハボタン

アブラナ科。原種はヤセイカンランで、ヨーロッパ西南部の海岸地帯に分布し古くより薬草として用いられ、後にキャベツやブロッコリー、ケールなどの食用に改良された。ハボタンはその中のケールを觀賞用に改良したもの。

① サザンカ

ツバキ科。野生種は本州南西端の山口県、四国の西南部、九州北部から沖縄にかけて自生。野生種の花色は白だが、江戸時代以降に園芸種の作出が流行し、現在では多様な色、花卉数の品種が300以上ある。漢字では「山茶花」と書く。

② クニフオフィア 'クリスマスチャー'

ワスレグサ科。野生種は南アフリカなどに分布。花は下から上に咲き進みオレンジ色に色づくため、その様子を燃えさかるたいまつ(トーチ)に見立てて「トーチリリー」、もしくは旧属名の「トリトマ」と呼ばれることが多い。

③ タイワンツバキ

ツバキ科。台湾、中国などに分布。一般的なツバキとは属が異なり、属名のゴードニアの名前で呼ばれることもある。寒さにやや弱く、花は強い霜にあうと傷みやすい。花径7~10cm。白色の5~6弁花で、多数の黄色い雄しべが目立つ。

④ サネカズラ

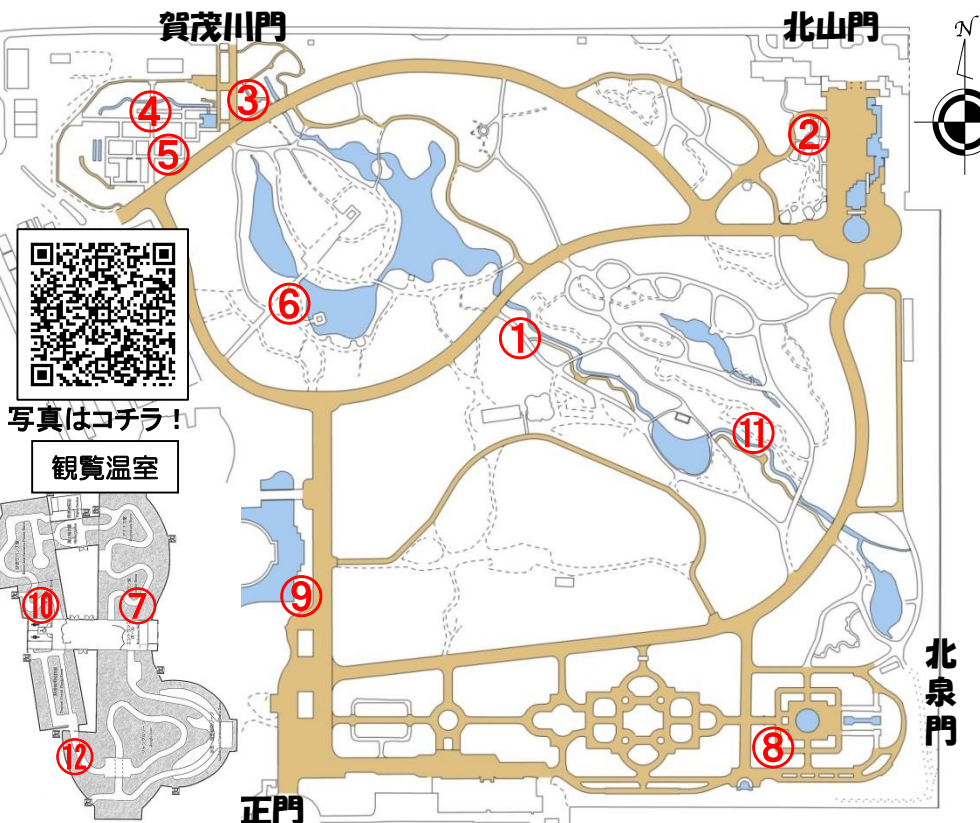
マツブサ科。関東以西の本州や四国、九州などの山野に分布。果実は光沢があり美しく、おいしそうに見えるが食用には向かない。昔、つるから出る粘液を整髪料として利用していたことから「美男葛(びなんかずら)」との別名もある。

⑤ トウゴマ

トウダイグサ科。東アフリカ原産。別名でヒマとも呼ばれ、種子から得られる油はヒマシ油として広く使われている。属名のRicinusはラテン語で「ダニ」を意味しており、その名のとおりに果実は模様と出っ張りのため、ダニに似ている。

⑥ 子福桜(コブクザクラ)

バラ科。野生種のカミザクラとコヒガンから生まれたと考えられる栽培品種。一つの花に雌しべが複数あることが特徴。そのため、一つの花に複数の果実が実ることから「子宝に恵まれるめでたい花」とされ、それが名前の由来となった。



⑧ ケイトウ

ヒユ科。熱帯アジア、インドに分布。古くに中国から渡来したとされる。名前は漢字で「鶏頭」と表記するように、花がニワトリのとさかに似ていることに由来する。花の色は品種によって赤、黄、オレンジ、ピンクなど多様で、形もさまざま。

⑦ フラグミペディウム・コパチー

ラン科。南米ペルー奥地、アマゾン川源流域に分布。花径はフラグミペディウム属の中で最も大きく15cmを超え、大輪のカトレヤに匹敵する。2002年に新種として発表され、その後「過去100年で最も素晴らしいランの発見」と評された。